

TR3シリーズ ファームVer1.35の追加機能

<追加コマンド一覧>

No	コマンド / 説明												
1	<p>アンチコリジョン処理の高速化</p> <p>アンチコリジョン(RFタグの複数同時読み取り)の処理速度を選択するためのコマンドです。 バージョン1.30以前の機種では、下記(A)または(B)の2種からの選択でした。 バージョン1.35では、より高速に処理できる(C)と(D)を追加し、かつ、コマンドで設定できるようにしています。</p> <p>< 選択できるパラメータ ></p> <table style="border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">遅い↑</td> <td>(A) 通常処理モード</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td>(B) 高速処理モード1</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td>(C) 高速処理モード2</td> <td>バージョン1.35より追加</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">速い↓</td> <td>(D) 高速処理モード3</td> <td>バージョン1.35より追加</td> </tr> </table> <p>高速処理モード3 高速処理モード3では、他のモードと比較して、Inventory2コマンド実行時のレスポンス順序が異なります。 このため、既存のシステムへ高速処理モード3に設定されたリーダーライタを接続した場合は、システムが正常に動作しない可能性がありますのでご注意ください。</p>	遅い↑	(A) 通常処理モード		↓	(B) 高速処理モード1		↓	(C) 高速処理モード2	バージョン1.35より追加	速い↓	(D) 高速処理モード3	バージョン1.35より追加
遅い↑	(A) 通常処理モード												
↓	(B) 高速処理モード1												
↓	(C) 高速処理モード2	バージョン1.35より追加											
速い↓	(D) 高速処理モード3	バージョン1.35より追加											
2	<p>RFキャリアの出力タイミング制御</p> <p>RF送信信号(キャリア)の出力タイミングを変更するためのコマンドです。 バージョン1.30以前の機種では、RFキャリアの出力タイミングは「起動時にON」のみでした。 バージョン1.35では、「起動時はOFF」や「コマンド実行時以外はOFF」を追加しました。 これにより、読み取り時以外はRFキャリアを出力したくない、といった制御が可能となります。 また、下記3種の設定はコマンドで設定できるようにしています。</p> <p>< 選択できるパラメータ ></p> <table style="border: none;"> <tr> <td>(A) 起動時ON</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(B) 起動時OFF(コマンド受付以降ON)</td> <td>バージョン1.35より追加</td> </tr> <tr> <td>(C) コマンド実行時以外常時OFF</td> <td>バージョン1.35より追加</td> </tr> </table>	(A) 起動時ON		(B) 起動時OFF(コマンド受付以降ON)	バージョン1.35より追加	(C) コマンド実行時以外常時OFF	バージョン1.35より追加						
(A) 起動時ON													
(B) 起動時OFF(コマンド受付以降ON)	バージョン1.35より追加												
(C) コマンド実行時以外常時OFF	バージョン1.35より追加												
3	<p>LockBytesコマンド</p> <p>ユーザエリアの連続した複数のブロックを同時にロックするためのコマンドです。</p>												
4	<p>富士通製RFタグ用通信設定コマンド</p> <p>富士通製RFタグとの通信に必要な設定を行うためのコマンドです。 バージョン1.30以前の機種では、弊社デモソフトからしか設定の変更ができませんでした。 バージョン1.35では上位からのコマンドで設定が可能となります。</p> <p>< 選択できるパラメータ ></p> <table style="border: none;"> <tr> <td>(A) 通常設定(Tag-it HF-I、I-CODE SLI、My-d)</td> </tr> <tr> <td>(B) 富士通製RFタグ設定(MB89R116 / MB89R118)</td> </tr> </table> <p>富士通製RFタグとの通信は、TR3-CF002のみサポートします。</p>	(A) 通常設定(Tag-it HF-I、I-CODE SLI、My-d)	(B) 富士通製RFタグ設定(MB89R116 / MB89R118)										
(A) 通常設定(Tag-it HF-I、I-CODE SLI、My-d)													
(B) 富士通製RFタグ設定(MB89R116 / MB89R118)													

(続き)

No	コマンド / 説明	
5	EEPROM設定用コマンド EEPROMの設定値をアドレス単位(1バイト単位)で変更するためのコマンドです。 表中 ~ バージョン1.30以前の機種では下表に示す設定各種が弊社デモソフトからしか変更ができませんでした。 バージョン1.35では上位からのコマンドで設定変更が可能となります。 表中 ~ バージョン1.35から新規に追加された設定です。上位からのコマンドで設定変更が可能です。	
No	設定項目	内容
	RDLOOPモード動作時のデータ読み取り範囲	RDLOOPモード動作時の「読み取り開始ブロック番号」と「読み取りデータ長」の設定
	アンテナ切替設定	複数のアンテナを切り替えるための設定
	自動読み取りモード動作時のAFI指定	任意のAFI値と同じAFI値が書かれたRFタグのみと通信するための設定
	リトライ回数	リーダライタがRFタグとの通信をリトライする回数の設定
	SimpleWriteコマンド実行時のUID指定	SimpleWriteコマンド実行時にUIDを指定した書き込みを行うための設定
	自動読み取りモード動作時のトリガー入力	トリガー入力時のみRFタグの読み取りを行うための設定
	ブザー種別	リーダライタに搭載されているブザー種別を選択するための設定 弊社IFモジュールに接続しない場合は無関係
	ノーリードコマンド	RFタグの未読み取り時にノーリードコマンドを上位にレスポンスするための設定
	自動読み取りモード動作時の読み取りエラー信号	RFタグの未読み取り時に読み取りエラー信号をIOポート3から出力するための設定
	RFタグのメモリブロックサイズ	通信対象となるRFタグのメモリブロックサイズを選択するための設定
	RS485接続	RS485通信のIFモジュールを使用するための設定
	My-d自動識別時のアクセス方式	My-dタグとの通信に使用するアクセス方式を選択するための設定
	ReadByteコマンド / RDLOOPモード動作時の使用コマンド	可変長データを読み取る際に使用するコマンドを選択するための設定 (ReadSingleBlockまたはReadMultiBlock)